

2010年6月16日

ELIS 復活祭へのお誘い

北陸先端科学技術大学院大学
日 比 野 靖

LISP マシン ELIS は、1979 年にその構想を得て、1984 年にプロトタイプ機が完成、引き続き VLSI 化に着手し 1986 年に完成、翌 1987 年から、NTT-IT 社より ELIS ワークステーションとして発売されました。

ELIS は竹内郁雄氏発案の LISP を発展させたマルチパラダイム言語 TAO が実装されています。

TAO/ELIS の開発プロジェクトは、独自のアーキテクチャを持つマシン上で、独自の言語 (TAO) を始め、マルチユーザオペレーティングシステムからネットワークシステム、ウィンドウシステム等のユーザインタフェースまでを、トータルに開発する一大プロジェクトでありました。

'80 年代後半は、バイポーラテクノロジーから高速 CMOS テクノロジーへの転換期であり、コンピュータのダウンサイジングが始った時期でもあります。

それから 25 年、四半世紀が経った今、今日の原点に当る時代のテクノロジーを復活させてみるのが、今後のコンピュータの発展の方向を考えるきっかけになればと考え、ELIS 復活祭を企画いたしました。幸い、多くの関係者のご賛同とご協力を得まして、みなさまにご案内できる運びとなりました。

復活イベントでは、単に、北陸先端大 JAIST に保存されているハードウェアに火を入れるだけではなく、当時開発に携わった人々が、何を考え何をしようとしていたかを語っていただこうと考えます。また、LISP を原点とする今日のプログラミング言語に関する話題を広くとりあげたシンポジウムを開催いたします。奮ってご参加くださるようお願いいたします。

特に若い人たちの参加を期待しております。

主催：北陸先端科学技術大学院大学

後援：情報処理学会歴史特別委員会

協賛：NTTアイティ株式会社
沖電気工業株式会社

協力：NTTサイバーコミュニケーション総合研究所

日時：2010年8月7日(土曜日)午後～8月9日(月曜日)

場所：北陸先端科学技術大学院大学 石川県能美市旭台 1-1